

2021 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ 第4戦 筑波大会

茨城県・筑波サーキット (1周=2.070km)
 2021年6月19日(土) 公式予選・レース1 天候: 雨 コース: ウエット
 6月20日(日) レース2 天候: 晴れ コース: ドライ

ST1000	37	■ 渡辺一馬	Race1 予選: 3番手(タイム:1分02秒283) 決勝: 3位
			Race2 予選: 2番手(タイム:1分02秒306) 決勝: DNF
ST1000	3	■ 作本輝介	Race1 予選: 10番手(タイム:1分03秒154) 決勝: 2位
			Race2 予選: 9番手(タイム:1分03秒287) 決勝: 優勝

作本輝介がレース2を制しST1000クラス初優勝! 渡辺一馬と作本が同点でポイントリーダーに!!



前戦のSUGOで渡辺一馬がAstemo Honda Dream SI Racing 初優勝を達成。その後も、鈴鹿テスト、そして筑波の事前テストとチームは休むことなく再び勝利を手にするために邁進し、第4戦筑波を迎えた。今回の筑波ラウンドはJSB1000クラスの開催は、ないが、渡辺一馬、作本輝介の参戦するST1000クラスを始め、全てのクラスが2レース制で行われるだけに、大量ポイントを獲得できるチャンスでもあり、シリーズランキングにも大きく影響するだけに重要なレースでもある。

レースウィークに合わせたように梅雨入りした関東地方。初日となった金曜日は予報に反し、蒸し暑い一日となり、ドライコンディションで走ることができていたが、気温も上がり路面温度は50度を超えていた。その厳しいコンディションの中、渡辺も作本も積極的に周回を重ねた。

筑波は、1周が約2キロと短く、ラップタイムも1分を切るコースだけにタイム差がなく、パッシングポイントも限られていることから予選は、一つでも前に並んでおきたいところ。土曜日は朝から雨模様となり、ウエットコンディションでのタイムアタックとなった。渡辺は、レース1で3番手、レース2で2番手と両レースでフロントロウを確保。作本は、レース1で10番手、レース2で9番手とやや後方グリッドとなっていた。

そしてレース1のスタートを迎えるが、いきなり上位のライダーがオープニングラップと2周目に最終コーナーで転倒。赤旗が提示され、レースは仕切り直しで行われることになる。

この日、2度目のスタートでも渡辺は好スタートを切りホールショットを奪うが、2コーナーからS字コーナー進入で榎戸選手にかわされ2番手となる。作本も

スタートで一気にポジションを上げ5番手につけていた。作本は2周目に1台、6周目に1台、いずれも1コーナーでポジションを上げ、渡辺の後方につける。トップを追いかけた渡辺だったが雨量が多くなったところでフィーリングが変わってしまい、思うようにペースを上げられなかった。そんな渡辺にかわり、作本が10周目の、やはり1コーナーで渡辺の前に出ていく。この時点でトップを走る榎戸選手とは6秒あったが、作本はあきらめずにファステストラップを更新する走りでも追っていく。そして残り4周となったところで榎戸選手が問題を抱えたのかペースダウン。作本は、一気に、その差を詰めていく。最終ラップに入ると完全にテールtoノーズとなるが、惜しくも0秒090届かず2位でゴール。渡辺が3位に入り、表彰台の両脇をAstemo Honda Dream SI Racingの2人が占める結果となった。



レース2の行われた日曜日は天気が回復。ドライコンディションとなり、朝のウォームアップ走行では、作本が、ただ一人56秒台をマークしトップタイムにつけていたが、レースでもその速さを見せつける。

ホールショットを奪ったのは、予選2番手グリッドからスタートした渡辺。作本は5番手までポジションを上げると、2周目に1台、3周目に1台をかわし3番手に浮上する。一方、トップを走る渡辺は、快調に走っていたが、4周目にマシントラブルが発生してしまいスローダウン。そのままレースを続けるのは、危険と判断しピットインし悔しいリタイアとなってしまふ。



一方、勢いのある作本は、4周目の第2ヘアピンでトップに浮上すると、そのままレースをリード。2番手以下を引き離し独走態勢を築いていく。そして残り4周を切った17周目に第2ヘアピンで転倒があり、マシンがコースに残ってしまったため赤旗が提示。16周終了時点でレースは成立となり、作本がST1000クラス初優勝を飾った。

第4戦筑波を終え、作本がポイントリーダーに浮上。渡辺は同ポイントで2番手となり、Astemo Honda Dream SI Racingの2人がランキングをリードしてシリーズを折り返す結果となった。



渡辺 一馬 コメント

「事前テストでトラブルや転倒があり、いい流れを作ることができなかったのですが、レースウイークに入ってからチームのおかげで、いいところまで仕上がって来ていました。ウエットとなった土曜日でもフィーリングはよかったのですが、雨が強くなってきたところで、感触が変わってしまい思うようにペースを上げることができませんでした。その中で3位になれたのは、シーズンを考えればよかったかもしれません。レース2は、スタートも決まり、いい感じでトップを走っていたのですが…。調子が悪くないですし、しっかり前を向いて、次戦鈴鹿に向けてアタマを切り換えます」



作本 輝介 コメント

「事前テストからの流れでチームと相談しながら決めたセットがいい方向に進んだので、朝のウォームアップ走行で自己ベストが出せましたし、決勝でも勝つことができました。ラップタイムを思うように上げることができなかったのでレース内容は、納得できるものではありませんでしたが、ST1000クラスで初優勝できたのは、チームのおかげです。本当に感謝しています。この流れを次戦の鈴鹿にも持って行きたいですね」



チーム監督：伊藤 真一 コメント

「今回も多くの皆さんの応援、ご声援、本当にありがとうございます。日立Astemo取締役の相田圭一さんも応援に駆けつけてくださり、絶対に勝つところをお見せしようとライダー、チームも頑張ってくれました。渡辺のトラブルは残念でしたが、作本が、これまで取り組んできた課題がやっと形になり、優勝することができました。ランキングでも2人がリードすることになり、この調子で次戦以降もいいレースをお見せできるようにチーム一丸となって臨みます」

次戦、第5戦鈴鹿は、7月17日(土)18日(日)に行われます。